

(5) 農林水産業費

事業名	みんなでひろげる有機の郷事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	農業費
担当部署	農林水産課		農業振興係		目	03	農業振興費	
事業費			1,250,000 円		事業の目的・目標	①有機農産物等の販路開拓及び販売拡大 ②有機農業の新規就農者の受入れ・育成 及び経営基盤の整備 ③有機農業の面的拡大		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		1,250,000 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- ・有機農業実践支援事業
有機農業の本格展開や規模拡大に対する支援（補助率：県 1/3 市 1/6）
- ・江津市有機農業推進協議会補助金
本市の有機農業の推進に取り組む江津市有機農業推進協議会に対し、補助金を交付し、その取組みを支援（補助率：県 1/2 市 定額）

○事業の実績

（単位：円）

事業区分	事業実施主体	事業内容	事業費	負担区分		
				県	市	自己負担
有機農業実践支援事業	有限会社スプラウト島根	実需者からの需要に対応するため、大麦若葉の検品作業の効率化に向けた機械の整備 ・ロータリーカッター 1台 ・風力選別機 1台	1,620,000	500,000	250,000	870,000
江津市有機農業推進協議会補助金	江津市有機農業推進協議会	(1)有機農業による生産取組の推進 ・市内での有機農業実践講座開催9回、延べ241名参加 ・有機農業講習会の開催3回、延べ83名参加 (2)有機農業の担い手の確保・育成 ・県外就農相談会の出席2回（広島1回、大阪1回）計16名の就農相談に対応 (3)有機農業の理解の促進 ・市内イベントにおける有機農産物の販促活動 (4)その他推進活動 ・有機農業推進協議会総会の開催 ・有機農業PRパンフレットの作成	1,325,000	325,000	1,000,000	0
			2,945,000	825,000	1,250,000	870,000

○事業の効果

- ・有機農業実践支援事業
 - 手作業で時間を要する大麦若葉の検品を機械化することにより、作業効率及び品質の向上が図られた。
- ・江津市有機農業推進協議会補助金
 - 有機農業実践講座による有機農業志向者の掘り起こしや担い手確保等の取組みにより、有機農業の普及拡大を図った。
 - 市内のコミュニティ・直売所等を通じて、有機農業PRパンフレットを作成・配布し、有機農業に対する認知度の向上を図った。



[有機農業実践講座]

事業名	有害鳥獣被害対策事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	農業費
担当部署	農林水産課		林業水産係		目	03	農業振興費	
事業費			7,164,181 円	事業の目的・目標	鳥獣による被害の予防や有害鳥獣の捕獲を行うことにより、農業生産の持続と農地の遊休化防止、集落の生活環境の保全に努める。			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		1,391,800 円					
	地方債		円					
	その他		円					
一般財源		5,772,381 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

- 捕獲事業
有害鳥獣捕獲班を編成し、イノシシ、サルなど農作物等に被害を及ぼす有害鳥獣を捕獲する。
- 防護柵等設置事業
有害鳥獣による被害防止を図るため電気柵や金網フェンス等の資材費助成を行う。
- 鳥獣被害防止総合対策交付金事業
農林水産省補助事業「鳥獣被害防止総合対策交付金事業」に取り組む「江津市鳥獣被害対策協議会」に対し、補助金等を支出し、将来に安心して農業に取り組める鳥獣被害防止施設の整備並びに地域ぐるみの鳥獣被害対策の確立を図る。
⇒総事業費：4,507,000円
国：4,043,000円（直接協議会へ交付）
市：464,000円

事業費内訳

(単位：円)

事業名	区分	内容	事業費
捕獲事業	有害鳥獣捕獲	イノシシ378頭、サル47頭、シカ5頭、カラス75羽、ヌートリア127匹	4,300,000
	捕獲活動条件整備	ハンター保険、狩猟登録料助成他	1,665,181
防護柵等設置事業	防護柵等設置	受益戸数24件	735,000
鳥獣被害防止総合対策事業	推進体制整備	江津市鳥獣被害対策協議会開催、事務費	464,000
	有害捕獲	アニマルキャッチャー購入 10台 イノシシ活用促進（ふるさとフェア出店）	
	被害防除	先進地視察研修	
	防護柵整備	総延長(鳥獣被害総合対策分)9,075m、8地区	
計			7,164,181

有害鳥獣捕獲実績 (H23-29)

(単位：頭、匹、羽)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
イノシシ	227	373	388	381	353	436	378
サル	20	48	38	38	34	31	47
シカ							5
カラス	213	175	211	136	61	97	75
ヌートリア	44	53	15	54	38	59	127

○事業の効果

- 捕獲事業の実施により、有害鳥獣の個体数増加に歯止めをかけており、被害の軽減に寄与した。
- 狩猟登録の助成等により市の捕獲班の確保に努めた。
- 鳥獣防護柵設置により、鳥獣被害の軽減が図れた。

事業名	地産地消支援事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	農業費
担当部署	農林水産課		農業振興係		目	03	農業振興費	
事業費			3,588,748 円		事業の目的・目標	営農コーディネーター2名を配置することにより、営農技術指導や消費者ニーズと生産・出荷のマッチング等を強化し、農林水産物直売所の年間を通じた安定供給を図る。また、学校給食での食材供給における生産者と品目の拡大を図り産直率向上に努める。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		3,500,000 円					
	その他		円					
	一般財源		88,748 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

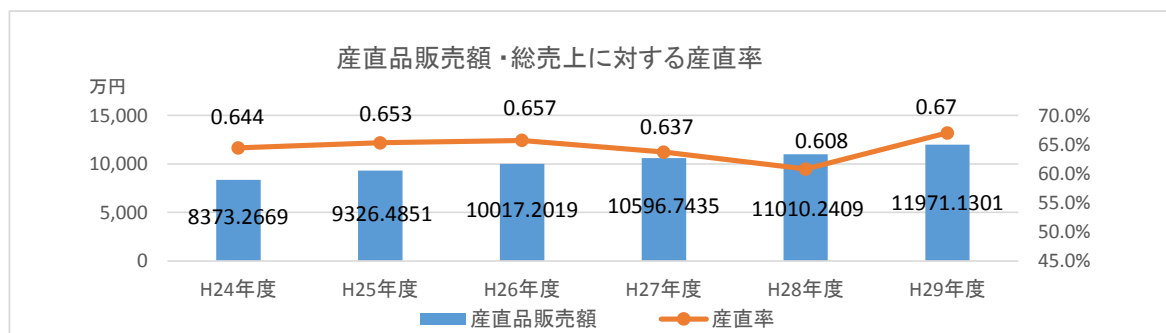
農林水産物直売所の安定供給及び学校給食における地産地消の推進を図るため、営農コーディネーターを2名配置する。

- 配置人数 : 2人 (江津地区1人、桜江地区1人)
- 配置場所 : JAしまね いわみ中央地区本部、島根おおち地区本部
- 経費の負担区分 : 江津市(各1/2 1,813,748円+1,775,000円=3,588,748円)
 いわみ中央地区本部(1/2) 1,813,748円
 島根おおち地区本部(1/2) 1,775,000円

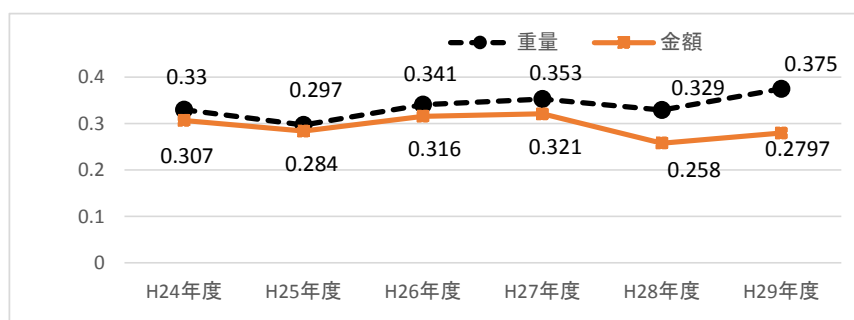
- 営農コーディネーターの業務内容
 - ① 営農相談・技術指導・研修会の実施
 - ② 収益のあがる農業経営への誘導
 - ③ 直売所での消費者ニーズと生産・出荷のマッチング
 - ④ 学校給食での供給と生産のマッチング
 - ⑤ 直売所・学校給食の生産物の集荷
 - ⑥ その他支援措置

○事業の実績及び効果

●「農林水産物直売所(三産市)」の実績



●学校給食食材自給率の実績



【学校給食センターへ納品】

事業名	担い手育成対策事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	農業費
担当部署	農林水産課		農業振興係		目	03	農業振興費	
財源内訳	事業費		10,055,395 円	事業の目的・目標	[担い手育成対策事業（ソフト）] 新規就農者の確保・育成を図るとともに、既存の担い手については、農地集積等を通じて経営基盤の強化を図る。			
	国庫支出金		円		[担い手育成対策事業（ハード）] 担い手の新たな規模拡大等に要する機械・施設の整備に要する経費を支援する。			
	県支出金		7,531,490 円					
	地方債		円					
	その他		2,480,156 円					
一般財源		43,749 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

(単位：円)

事業主体	事業種目	事業費	事業に要した経費(県+市)	負担区分		
				県、公社	市	自己負担
[担い手育成対策事業]						
[担い手育成対策事業（ソフト）]						
1. 江津市新規就農者支援対策事業						
専業就農者	農業次世代人材投資資金	7,500,000	7,500,000	7,500,000	0	0
2. 人・農地問題解決加速化支援事業						
江津市	推進活動	22,217	22,217	8,750	13,467	0
3. 農地中間管理事業						
江津市	推進活動	2,510,438	2,510,438	2,474,792	35,646	0
4. 機構集積協力金事業						
地域、農地所有者等	経営転換協力金	22,740	22,740	22,740	0	0
合計		10,055,395	10,055,395	10,006,282	49,113	0

[担い手育成対策事業（ソフト）]

1. 江津市新規就農者支援対策事業

●農業次世代人材投資資金（事業主体：専業就農者）

[内容]

経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して、資金を交付し経営の安定を図る。

- ・専業就農者(浅利町、夫婦共同経営) 2,250,000円
(就農地：波積町、経営作目：コケ)
- ・専業就農者(波子町、夫婦共同経営) 2,250,000円
(就農地：敬川町、経営作目：コケ)
- ・専業就農者(桜江町) 1,500,000円
(就農地：桜江町、経営作目：露地野菜)
- ・専業就農者(浅利町) 750,000円
(就農地：後地町、経営作目：施設野菜)
- ・専業就農者(浅利町) 750,000円
(就農地：後地町、経営作目：施設野菜)

計 7,500,000円

○事業の効果

●新規就農者の営農継続及び定着 7名



[波積町でコケ生産に取り組む専業就農者]



[桜江町で露地野菜の生産に取り組む専業就農者]
(児童との交流会に講師として参加)

2. 人・農地問題解決加速化支援事業

●推進活動〈事業主体：江津市〉

〔内容〕

地域単位での地域農業の話合いの場づくりや人・農地プランの更新等を実施する。

- ・人・農地プラン作成支援システム経費 4,717円
- ・人・農地プラン検討会の開催 17,500円

計 22,217円

○事業の効果

- 地域農業の話合いの場づくりと合意形成 3地区

3. 農地中間管理事業

●推進活動〈事業主体：江津市〉

〔内容〕

分散錯綜した農地の集積・集約化を図り、地域の担い手の経営基盤の強化を図る。

(※本事業は、農地中間管理機構に指定されている公益財団法人しまね農業振興公社からの委託事業として実施)

- ・人件費（嘱託員報酬、職員時間外手当） 2,272,273円
- ・その他事務費 238,165円

計 2,510,438円

○事業の効果

- 農地所有者から農地中間管理機構への貸付実績 11.4ha

4. 機構集積協力金事業

●機構集積協力金〈事業主体：農地所有者〉

〔内容〕

農地中間管理機構に対し農地を貸し付けた地域または農地所有者に対し機構集積協力金を交付することにより、農地中間管理機構を活用した担い手への農地集積と集約化を推進する。

- ・経営転換協力金（個人：2件、貸付面積：22a） 22,740円

計 22,740円

○事業の効果

- 個人農家から担い手へ農地集積を行うことで、作業の効率化と高収益作物への転換が図られた。

事業名	中山間地域等直接支払事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	農業費
担当部署	農林水産課		農業振興係		目	03	農業振興費	
事業費			13,484,604円		事業の目的・目標	中山間地域の農地を適切に管理し、耕作放棄地の発生防止や多面的機能（洪水防止や水源の涵養、美しい景観）の確保を図るために、平地との生産コスト差に相当する交付金を交付し、中山間地域の農業生産活動の継続を図るための支援する。協定数・協定面積の増加を目標とし、高齢化や担い手不足等によって営農活動困難が予想される集落協定については近隣の集落による補完を踏まえた広域連携対策を進める。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		9,884,572円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		3,600,032円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 急傾斜地 「田」 傾斜1/20 21千円/10a 「畑」 傾斜15度 11.5千円/10a
- 緩傾斜地 「田」 傾斜1/100 8千円/10a 「畑」 傾斜 8度 3.5千円/10a
(※基礎活動への取組の場合は、上記単価の8割)

○事業の実績

第3期対策の取組を継続し、第4期対策（H27年度～31年度）の取組中間年。

- 協定数 25協定（集落協定 24 ・ 個別協定 1）
- 協定農用地 132ha（田 105ha ・ 畑 27ha）
- 事業費内訳 13,484,604円（交付金12,779,455円＋推進費（事務費）705,149円
(※交付金は、国費と県費は市を通して交付。)

○事業の効果

上記の協定農用地が荒廃することなく適切に管理され、農地の持つ多面的機能を発揮している。集落の農地は集落で守るという各集落協定参加者の意識も定着し、各集落で積極的な活動が行われている。（写真は「波積本郷」地区の取り組み）



「圃場の畔塗り補修研修会（共同取組）」



「共同作業による水路管理」



「景観作物（チューリップ）の作付け」



「無人ヘリコプターによる病害虫防除」

事業名	多面的機能支払事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	農業費
担当部署	農林水産課		農業振興係		目	03	農業振興費	
事業費				22,149,916 円	事業の目的・目標	農村地域の高齢化や過疎化の進行に伴い、国土の保全や水源のかん養、美しい景観を作るなどの農業や農村の有する多面的機能の維持・発揮に支障が生じているため、機能の適切な維持・管理やさらなる発揮を目的に農地・水保全管理制度を継承して実施する日本型直接支払制度(多面的機能支払制度)によって農業・農村の支援を行うもの。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			16,624,250 円				
	地方債			円				
	その他			円				
	一般財源			5,525,666 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

多面的機能支払制度の概要

①農地維持支払交付金

・農地や道水路などの草刈りや泥上げ、簡易な補修などの基礎的な保全活動と生物多様性の保全や景観形成など農村環境保全のための活動への支援

対象農用地面積に「田 3,000円/10a・畑 2,000円/10a」乗じて得た金額を交付する。

②資源向上支払交付金

・「地域資源の質的向上を図る共同活動」への支援

対象農用地面積に多面的機能増進活動に取り組んだ場合は「田 1,800円/10a・畑 1,080円/10a」を取組まない場合は「田 1,500円/10a・畑 900円/10a」を乗じて得た金額を交付する。

・「施設の長寿命化のための活動」への支援

対象農用地面積に「田4,400円/10a・畑 2,000円/10a」乗じて得た金額を交付する。

○事業の実績

●総事業費 22,149,916円

・多面的機能支払交付金21,851,000円

(内訳：国費10,925,500円＋県費5,462,750円＋市費5,462,750円)

・多面的機能支払推進費(事務費)298,916円(国費236,000円+市費62,916円)

●協定組織数

○農地維持支払交付金の取組み組織：14組織

○資源向上支払交付金の取組み組織：14組織

・地域資源の質的向上を図る共同活動の取組み組織：14組織

(うち多面的機能増進活動に取り組む組織12組織、取組まない組織2組織)

・施設の長寿命化のための活動に取り組む組織：6組織

●多面的機能支払交付金の対象となる農用地の状況

○農地維持支払交付金の対象となる農用地の面積

352ha：田 317ha・畑 35ha

○資源向上支払交付金の対象となる農用地の面積

・地域資源の質的向上を図る共同活動の対象となる農用地の面積

352ha：田 317ha・畑 35ha

・施設の長寿命化のための活動の対象となる農用地の面積

167ha：田 157ha・畑 10ha

○事業の効果

資源向上維持活動及び共同活動並びに農地維持支払交付金と活動範囲が多岐にわたってカバーされたことにより施設の基礎的な保全活動に加え、新たに生物多様性の保全や景観形成など農村環境保全のための活動への取組みが地域に浸透してきており、各組織で参加者の拡がりが見られるようになった。

事業名	農林水産振興総合事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	農業費
担当部署	農林水産課		農業振興係		目	03	農業振興費	
事業費				19,176,880 円	事業の目的・目標	①[新農林水産振興がんばる地域応援総合事業]		
財源内訳	国庫支出金			円		担い手の育成確保など、本市における農業振興の課題に取り組むため、県事業を導入して必要な支援を行う。		
	県支出金			12,873,000 円		②[6次産業推進事業]		
	地方債			5,500,000 円		農林漁業者等の1次生産者と加工、流通、行政等の多様なネットワークによる新商品開発、市場調査、販路開拓等に取り組むための経費を支援する。		
	その他			円				
	一般財源			803,880 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

(単位：円)

事業主体	事業種目	事業費	事業に要した経費(県+市)	負担区分		
				県	市	その他
[農林水産振興総合事業]						
1、新農林水産振興がんばる地域応援総合事業						
専業就農者A	自営就農開始支援	1,945,820	972,000	648,000	324,000	973,820
専業就農者B	自営就農開始支援	860,000	429,000	286,000	143,000	431,000
2、6次産業推進事業						
市	江津市6次産業推進アドバイザー業務	4,860,000	4,860,000		4,860,000	
江津市6次産業創造戦略会議	補助金(ソフト事業)	5,031,820	4,116,880	3,140,000	976,880	914,940
市内事業者	補助金(ハード事業)	19,310,000	8,799,000	8,799,000		10,511,000
合計		32,007,640	19,176,880	12,873,000	6,303,880	12,830,760

※補助残は事業主体が自己負担

1、新農林水産振興がんばる地域応援総合事業

●自営就農開始支援 (事業主体：専業就農者)

[内容]

認定新規就農者が農業経営を開始する際に必要な施設、機械等の整備を支援

・専業就農者A

灌水施設一式

1,566,000円

白ネギ管理機 1台

379,820円

計1,945,820円

・専業就農者B

生産基盤整備工事(排水管設置、排水改良)

860,000円

計 860,000円

○事業の効果

新規就農者を対象に、初期投資の軽減を図り、新規就農者の育成・確保を図った。

2、6次産業推進事業

(1) 江津市6次産業推進アドバイザーの設置

計4,860,000円

[内容]

商品開発のための事業者連携のコーディネートや販路開拓への助言を受ける

・江津市6次産業創造戦略会議等の運営サポート 9回

・市内事業者のヒアリング・ニーズ把握 55社

・商品開発支援 12件

・事業者間同士のマッチング件数 4件

・販路開拓・プロモーション活動 16回

(2) 江津市6次産業創造戦略会議等補助金

計5,031,820円

■ソフト支援

[内容]

江津市6次産業創造戦略会議へ補助金を交付し、6次産業化の取組みを支援する

①地域資源を活用した新商品開発の支援(12件、以下は主な新商品)



・「いも羊羹」

(地元のさつまいもを使用)

・「道の駅」サンピコごうつで販売中



・「レバー入りつくね」

(まる姫ポークのレバー使用)

・学校給食に提供



- ・「トマトピューレ」
(地元産のトマトを利用)
- ・地元スーパー等で販売中



- ・「豚肉の三種漬けセット」
(まる姫ポーク使用)
- ・大手百貨店のネットショッピングで販売

②販路開拓・各種プロモーション活動支援



[6次産業化商品展示販売@市内]



[中四国ビジネスフェア出展@広島市]



[6次産業化商品展示販売・ワークショップ@栃木県]

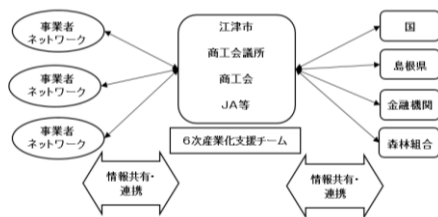


[「道の駅」サンピコごうつ直売所でのオリジナル商品パッケージの作成]

③その他 6次産業化推進に係る支援

- ・商品開発等の補助事業の導入支援 (2件)
- ・支援機関会議 (JA、金融機関、県、市) の設置と会議開催 (1回)

[支援機関会議の推進イメージ]



■ハード支援 (事業主体：桜江町桑茶生産組合)

計19,310,000円

[内容]

地元の農作物を活用した一次・二次加工品製造拠点、また、海外展開拡大のため、国際衛生基準 (ISO22000) に即した加工機械・施設を整備



[粉体秤充填機]



[乾燥室改修]

○事業の効果

- ・雇用者の増 (3名)
- ・新たな販路の開拓 (4件)
- ・地域資源を活用した新たな商品開発 (12件)
- ・補助事業等の事業導入に向けた支援機関会議設置による支援体制の強化
- ・販路開拓・プロモーション活動の実施による本市の特産品PRと認知度向上

事業名	農林水産物直売所支援事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	農業費
担当部署	農林水産課		農業振興係		目	03	農業振興費	
事業費					8,162,364 円			
財源内訳	国庫支出金				円			
	県支出金				円			
	地方債				円			
	その他				1,188,147 円			
	一般財源				6,974,217 円			
				事業の目的・目標	直売所を拠点とした生産振興と地産地消、情報発信の取組みを進めるために、直売所の安定経営と維持管理に必要な経費を負担し、効率的な活用を図る。			

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

(単位：円)

区分	金額	内容
指定管理者に委託する施設の維持管理に関する経費	3,600,000	・指定管理委託料(トイレ清掃・データ通信・警備保障等) 3,600,000
その他	4,562,364	・浄化槽管理委託料(国84%：市16%) 1,414,460 ・イベント経費(警備・広報・消耗品) 1,137,559 ・その他(管理費・修繕料・研修費等) 2,010,345
計	8,162,364	

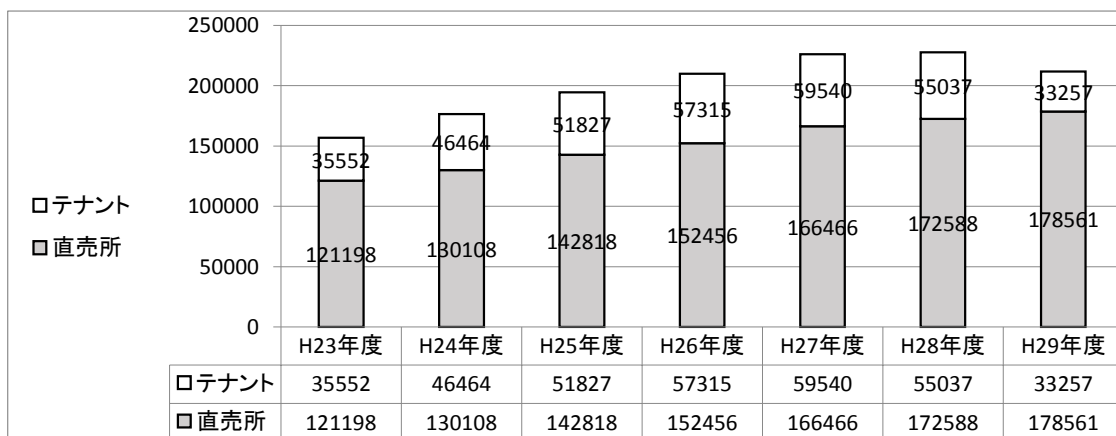
○事業の効果

「道の駅」開設後8年が経過し、「道の駅」が持つ3つの機能(休憩機能・情報発信機能・地域の連携機能)を発揮し、多くの住民と通行客・観光客の利用があった。

その内の農林水産物直売所では各種イベントの開催、県内外でのPR活動にも取り組み、売上、集客数も確実に増加している。また地産地消や食育の推進も図り、生産者の農業への意欲向上、地場製品の消費拡大にも貢献している。

【農林水産物直売所の実績】

(単位：千円)



	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
直売所販売額	121,198	130,108	142,818	152,456	166,466	172,588	178,561
(内)産直販売額	70,932	79,304	87,368	92,768	96,752	92,172	89,410
テナント販売額	35,552	46,464	51,827	57,315	59,540	55,037	33,257
合計	156,750	176,572	194,645	209,771	226,006	227,625	211,818

事業名	林業振興費			予算科目	会計	01	一般会計
					款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	02	林業費
担当部署	農林水産課		林業水産係		目	02	林業振興費
事業費			1,000,000 円	事業の目的・目標	市内林業の振興の為、緑の募金の推進や林業の担い手である森林組合に対し、社会保険や退職金制度への加入促進のため、補助金を交付するほか、地域資源による産業の創出を目的として設立された「江津市地域資源活用協議会」に対し、事業の円滑な推進をはかるため補助金を交付するもの。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		600,000 円				
	その他		50,000 円				
	一般財源		350,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

【緑の募金推進事業】

緑の募金の推進事務費。(50,000円)

【森林組合作業員雇用安定化対策費補助金】

林業の担い手である森林組合作業員の社会保障制度への加入促進を図るため、社会保険料、退職金掛け金の事業者負担金及びその他雇用安定化に必要な経費に対し補助金を交付。

交付対象者	補助金額(円)	加入者数(人)			その他
		健康保険	厚生年金	退職金	
江津市森林組合	300,000	11	11	11	—
邑智郡森林組合	400,000	5	5	5	作業員休憩施設使用料補助
計	700,000	16	16	16	

【江津市地域資源活用協議会補助金】

6次産業化の推進による雇用の創出を目指し、特に雇用創出効果の高い、桑・コケ・未利用木材といった地域資源を活用した産業の創出を図るため、平成27年9月に設立した「江津市地域資源活用協議会」を推進母体として、山村活性化支援交付金を活用し、3カ年(平成27～29年度)継続して事業を実施する。

[平成29年度実績 協議会総事業費：7,569,762円]

事業内容

①コケ

地元企業や生産者組合と連携し、千葉市の幕張メッセで開催されたフラワーエキスポや枚方市で開催されたGREEN STYLE FAIR等の商談会等に出席し、販路開拓を実施。

②未利用木材

森林所有者が自ら伐採・搬出・出荷ができるようチェーンソーの目立てや立木の伐採訓練、ロープ集材機を使った技術研修会、作業道開設や森林に対する勉強会を実施。

財源内訳

名 称	金 額 (円)
山村活性化支援交付金 (国交付金)	7,270,097
江津市地域資源活用協議会補助金	250,000
事業者負担金	49,665
計	7,569,762

○事業の効果

【緑の募金推進事業】

平成29年度においては、1,281,466円の募金が集まった。

【森林組合作業員雇用安定化対策費補助金】

森林組合作業員の社会保障制度対象者の全員が制度に加入した。

【江津市地域資源活用協議会補助金】

コケ：都会地等において江津のコケを活用したテラリウムなどを展示しPRを図った。

未利用木材：森林、林業の研修会に延べ390人が参加し、林業技術の習得や森林に対する理解を深めた。
：14名の自伐林家が出荷登録を行い、未利用木材の搬出を開始した。



枚方蔦屋書店主催「GREEN STYLE FAIR」出展状況



国際フラワー&プランツエキスポ出展状況

事業名	公社造林事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	02	林業費
担当部署	農林水産課		林業水産係		目	02	林業振興費	
事業費			18,466,414 円	事業の目的・目標	公益社団法人島根県林業公社の分収契約による管理者として事業受託し、造林及び保育に関する事業を実施する。			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他		10,215,133 円					
	一般財源		8,251,281 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

保育事業委託料

施行内容	箇所数	施行面積 (ha)	施行委託料 (円)
保育間伐	2	35.30	6,426,000
搬出間伐	1	12.94	3,588,840
計	3	48.24	10,014,840

旅費	(円)
普通旅費	30,160

需用費	(円)
燃料費	9,336

役務費	(円)
自動車損害保険料	16,048

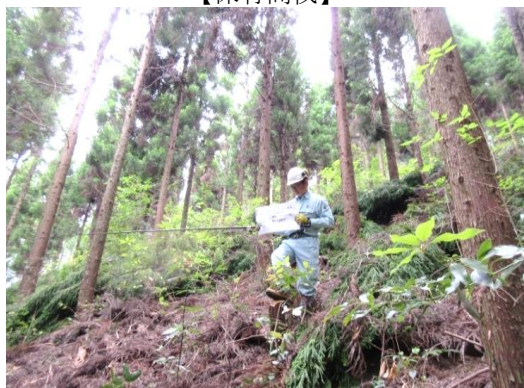
使用料及び賃借料	(円)
自動車借上料	384,912

人件費	(円)
人件費	8,011,118

○事業の効果

- ・保育施策を実施することで、森林の公益的機能・財産価値を高めることができた。
- ・間伐材を搬出し販売することで、土地所有者に利益を分収することができた。

【保育間伐】



【搬出間伐】



事業名	森林整備地域活動支援事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	02	林業費
担当部署	農林水産課		林業水産係		目	02	林業振興費	
事業費			6,990,000 円	事業の目的・目標	森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう適切な森林整備の推進を図るため、森林所有者等による森林施業実施に不可欠な森林の現況調査や作業路網の簡易な改良活動等の地域活動を支援する。			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		5,242,500 円					
	地方債		円					
	その他		円					
一般財源		1,747,500 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

江津市森林組合に補助金を交付し、森林経営計画の作成促進、森林境界の明確化、作業路網の改良活動を実施。

事業メニュー	積算面積 (ha)	交付金額 (円)	県交付額 (円) 3/4	市交付額 (円) 1/4
森林経営計画作成促進	108.00	1,914,000	1,435,500	478,500
森林境界の明確化	50.00	2,250,000	1,687,500	562,500
森林経営計画作成に向けた条件整備	70.65	2,826,000	2,119,500	706,500
計	228.65	6,990,000	5,242,500	1,747,500

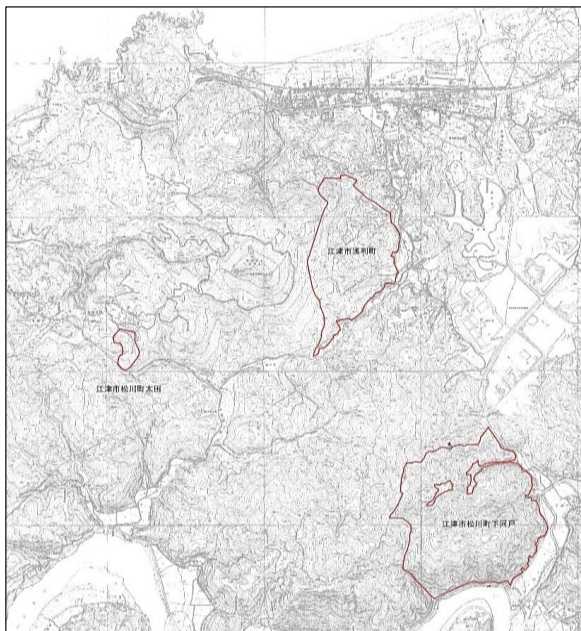
○事業の効果

本事業により、計画的な森林施業のための情報整備や作業路網の基盤改良が図られた。

事業メニュー	対象行為	実施箇所	実施面積・延長	単位
森林経営計画作成促進	森林調査 経営計画作成	旧江津市内	108.80	ha
森林境界の明確化	森林境界の測量	松川町太田・下河戸 浅利町	50.42	ha
森林経営計画作成に向けた条件整備	作業路網の改良	跡市町作業路	170	m

【森林境界の明確化位置図：江津市森林組合】

【作業路網の改良：江津市森林組合】



事業名	地域林業循環創造事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	02	林業費
担当部署	農林水産課		林業水産係		目	02	林業振興費	
事業費			5,623,678 円		事業の目的・目標	林業事業体や森林所有者等が地域の森林から未利用木材を搬出しバイオマス発電用燃料を供給する取組を支援することで、施業が放棄されている森林の適正な管理を促進し、循環型林業の再生を目指す。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		1,500,000 円					
	その他		307,830 円					
	一般財源		3,815,848 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

【バイオマスコーディネーターの設置】

以下の研修会、学習会を企画し、森林所有者や市民が森林・林業の技術や知識を習得した。

- ・森林資源利活用フォーラム（5月にパレットごうつで開催）
市内で事業化されているCNFやバイオマス発電所の取組みについてフォーラムを開催。
- ・チェーンソー伐木技術研修会（7月に波積地区、10月に長谷地区で2回実施）
チェーンソーによる安全な伐木技術の習得を目的として研修会を実施。
- ・集材技術研修会（6月と11月に波積地区で2回実施）
ロープやエンジンウィンチを利用した木材の集材技術の習得を目的として研修会を実施。
- ・災害に強い森づくり研修会（5月に市山地区、12月に谷住郷地区で2回実施）
森林防災の専門家を招いて、地域住民を対象に現地踏査及び講演会を実施。
- ・森林基礎研修会（10月に少年自然の家、2月に風の国で実施）
広葉樹の見分け方や価値を知る学習や針葉樹造林地の適正な管理方法について学習。
- ・きのこ栽培研修会（10月と12月に風の国で実施）
ほだ木に利用する広葉樹の伐採方法や植菌、伏せ込み方法を学習。
- ・作業道開設研修（7月と11月に波積地区で2回実施）
専門家を招いて、低コストかつ壊れにくい作業道の開設方法を学習。
自伐林家の育成や、地域や森林所有者に対し緑化事業、補助事業等のアドバイスを実施。

【間伐材買取り支援補助金の交付】

チップ生産事業体に3,000円/トンの補助金を交付し、森林の間伐及び間伐材の搬出を促進する。

バイオマスコーディネーター設置費用	(円)
報酬、保険料、建物借上料等	3,670,615

バイオマスコーディネーター事務経費	(円)
旅費、消耗品費、器具購入費等	399,063

間伐材買取り支援補助金	(円)
間伐材買取り支援補助金	1,554,000

○事業の効果

- ・森林・林業に関する研修会及び学習会等を開催し、延べ390人が参加し、林業技術の習得や森林に対する理解を深めた。
- ・間伐材買取り支援補助金制度の出荷登録者が14人（団体）増加し、38人（団体）となり、間伐材の出荷量は518トン（673m³）となった。

【森林資源利活用フォーラムの様子】



【きのこ栽培研修会の様子】



事業名	林業専用道開設事業（繰越）			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	02	林業費
担当部署	農林水産課		林業水産係		目	02	林業振興費	
事業費				25,111,200 円	事業の目的・目標	路網が無い為に木材生産が進んでない森林に林業専用道（規格相当）を開設し、木材生産を加速させる。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			25,000,000 円				
	地方債			円				
	その他			111,200 円				
	一般財源			円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

林業専用道市山線測量設計業務 5,339,520円
業務延長 L=1000m

林業専用道市山線開設工事 19,765,080円
工事延長 L=580.4m、W=3.5m

推進事務費（旅費） 6,600円

○事業の効果

林業専用道市山線580.4mを開設した。

平成28年度 林業専用道市山線測量設計業務

平成28年度 林業専用道市山線開設工事

検 査

竣 工



事業名	森林病虫害等防除事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	02	林業費
担当部署	農林水産課		林業水産係		目	02	林業振興費	
事業費			7,225,481 円	事業の目的・目標	森林病虫害等を早期に、且つ、徹底的に駆除し、及びそのまん延を防止し、もつて森林の保全を図ることを目的とする。			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		4,809,500 円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		2,415,981 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

森林病虫害におかされた松の伐倒駆除を行う。また、森林病虫害による枯死木の林内処理を行う。

○事業の実績

費目	防除方法	事業量	事業費(円)
委託料	衛生伐・不用木等の除去・処理	くん蒸284.5m ³ 、不用木11.3m ³	6,595,560
	枯死木の林内処理(県単)	19.8m ³	400,680
	枯死木の林内処理(市単)	10m ³	203,040
需用費	燃料費		26,201
合 計			7,225,481

○事業の効果

森林病虫害を駆除することにより、線虫の増殖を防ぐことができた。

着手前



完了



事業名	市行分収造林事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	02	林業費
担当部署	農林水産課		林業水産係		目	03	財産造成費	
事業費			7,616,272 円	事業の目的・目標	木材としての価値を高め、市有財産を増やすとともに搬出間伐等の木材生産を行い、分収契約者に収益を還元する。森林の持つ公益的機能をより発揮させる。林業の活性化を図り、林業雇用の場を維持拡大させる。			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		5,206,640 円					
	地方債		700,000 円					
	その他		1,263,160 円					
一般財源		446,472 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

保育事業委託料

施業内容	箇所数	施業面積 (ha)	施業委託料 (円)
搬出間伐	1	8.55	4,320,000
除伐	2	4.65	598,000
枝打ち	2	4.65	1,215,000
造林地調査	3	9.65	440,640
合計	8	27.50	6,573,640

役務費

(円)

木材運搬手数料	1,036,800
---------	-----------

*3,240円×320m³

需用費

(円)

消耗品費	5,832
------	-------

○事業の効果

- ・保育施業を実施することで、森林の公益的機能・財産価値を高めることができた。
- ・搬出間伐により320m³の木材を生産し、825,241円の収益を上げた。

【搬出間伐竣工】

【枝打ち竣工】



事業名	水産振興対策事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	03	水産業費
担当部署	農林水産課		林業水産係		目	02	水産業振興費	
財源内訳	事業費		1,262,606 円	事業の目的・目標	資源管理型漁業を推進するため、ヒラメの中間育成やアワビ等の放流を行い、漁業資源の維持・増大を図る。 また、江津市、美郷町、邑南町と共同してヨシ帯を保全し内水面漁業の魚場保全を図る。			
	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		1,100,000 円					
	その他		円					
一般財源		162,606 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

1. ヒラメの放流

石見西部地域水産振興部会に負担金を拠出し、ヒラメの稚魚の購入、中間育成を行い、約15cm程度まで成長させた後放流を行った。

栽培漁業の普及を目的として、桜江小5年生児童18人と学習会及びPR放流を実施した。

石見西部地域水産振興部会費 (円)

部会事業費	県補助金	国補助金	ファンド	市町村等負担金(江津市)
6,853,776	1,605,962	458,750	1,579,064	3,210,000 (286,769)

地域部会費 8,740 円 (旅費、通信費)
 育成管理費 2,412,716 円 (中間育成人件費、修繕費、各種消耗品費用等)
 種苗購入費 4,432,320 円 (ヒラメ160,000尾購入)

2. アワビ稚貝購入 (7,200個) 【事業費：816,480円】

3. 江の川ヨシ帯保全 【事業費：159,357円】

江川流域保全協議会活動組織

(円)

事業費	国庫補助	県補助	市町負担(江津市)
1,710,000	1,197,000	257,000	256,000 (159,357)

○事業の効果

- 153,600尾のヒラメを放流し(内江津市38,400尾)、県全体で取り組む「採る漁業からつくり育てる漁業」である栽培漁業の推進に寄与した。
- 減少傾向にある水産資源の回復を支援するために、アワビの稚貝を購入し、JFしまね浜田支所江津出張所を通じ漁業者へ支給した。
種苗の生産、育成、放流等の栽培漁業推進のため、水産資源の回復を支援し、水産物の安定的な供給を図った。
- 江の川水系の漁場環境の維持回復を目的としてヨシや競合植物の刈り払いを行った。

【ヒラメPR放流】



【アワビ稚貝放流】

